

令和7年1月31日 作成

令和6年度第2回大町町地域公共交通会議 議事録（要旨）

日 時：令和7年1月22日（水） 14：00～15：10

場 所：大町町役場 2階 中会議室

参加者：九州運輸局佐賀運輸支局	首席運輸企画専門官	牟田 嘉伊座（欠席）
九州運輸局佐賀運輸支局	首席運輸企画専門官	千種 智章（欠席）
佐賀県さが創生推進課	主事	及川 雅陽（代理）
一般社団法人佐賀県バス・タクシー協会	専務理事	草野 武生
祐徳自動車株式会社	乗合バス部長	山口 守（欠席）
有限会社大町観光タクシー	代表取締役	山口 輝二郎（欠席）
白石警察署	交通課長	渡辺 知伸（欠席）
大町町	副町長	川原 恵
大町町	福祉課長	釘本 あゆみ
大町町	教育委員会事務局長	井手 勝也
九州地方整備局佐賀国道事務所	計画課長	藤本 知法（欠席）
佐賀県杵藤土木事務所	管理第二係長	馬場 智生
大町町	農林建設課長	吉村 秀彦（欠席）
大町町区長会	会長	城戸 英明
大町町老友会クラブ連合	会長	堅固 勲
大町町婦人会	会長	武村 妃呂子
大町町民生委員会	会長	武村 宣子
大町町ひじり学園 PTA	代表	角田 隆
大町町商工会	副会長	北沢 聡（代理）
大町町議会	議員	江口 正勝
大町町議会	議員	山下 淳也

【事務局】

大町町	企画政策課課長	藤瀬 善徳
大町町	企画政策課副課長	大島 与志行
大町町	企画政策課係長	中島 隆貴

【オブザーバ】

西日本総合コンサルタント株式会社	副課長	中尾 和之
西日本総合コンサルタント株式会社	係長	庄司 耕

内 容：

1 開会（事務局 中島係長）

2 挨拶（川原会長）

昨年 11 月 1 日に大町町の副町長に就任した。本日は議案と報告事項の合わせて 3 点を準備している。皆様からの忌憚のない意見を頂戴したい。まちバスは利用者も増え、皆様に愛され地域の足として利用されている。どうぞよろしくお願い致します。

3 議案

■議事録署名人 北沢委員（大町町商工会）

■第 1 号議案（資料 1）

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

（事務局 中島係長）

資料説明

（川原会長）

説明について、ご意見、ご質問などがあればよろしくお願いします。色々な施策、呼び掛けにより利用者数は前年より増えている。目標をすべて達成し、事務局では事業実施の適切性、目標・効果達成状況ともに A という評価をしている。

（江口委員）

資料 16 ページに「利用者がほとんどないバス停があり、改善の余地あり。」「より多くの利用可能性が見込める場所へのバス停移設を検討する。」との記載がある。前回、ひじりの湯にバス停を設けて欲しいという要望がある。と意見を述べたが進展はあるのか。

（事務局 中島係長）

バス停設置については、バス停を増やし続ける訳にはいけないので、利用の少ないバス停を廃止して、新たにバス停を追加することになる。地区のバス停がなくなないように、区長にも利用促進の呼び掛けをお願いしている。バス停数が増えると 1 便あたりの運行時間が長くなり利便性の低いコミュニティバスになってしまう。例えば、ひじりの湯を追加するために、港町公民分館を廃止とした場合、この会議だけでなく住民の意見も拾わなければならないと考えている。協議をしながら進めていきたい。バス停の変更がない理由の 1 つとして、まちバスの利用者数は年々増加傾向にある。利用者はある程度固定はされているが、流動的で以前はこの地区が多かったが、最近ではこの辺りの地区が増えている等の話も運行事業者からよく聞く。一度設置したバス停位置の変更は難しいが、見直しについては協議していきたい。

（川原会長）

質疑がなければ承認決議を取りたいと思います。この内容で九州運輸局に提出してよろしいでしょうか。

⇒反対なし

(川原会長)

第1号議案について承認する。

■第2号議案（資料2）

大町町地域公共交通計画の評価等の結果について

(事務局 中島係長)

資料説明

(川原会長)

説明について、ご意見、ご質問があればよろしくお願いします。目標1、目標2については、やや未達成な数値はあるが概ね達成している。目標3については、公的資金の投入額が未達成となっているが、様々な物価上昇の状況で致し方ない所があるかと思う。

(城戸副会長)

年々経費が上がっているが、設定値に無理があるのではないか。何年か経ったところで見直しが必要。数字に縛られてしまう。

(事務局 中島係長)

おっしゃる通り。現在の状況に合わない所は見直しが必要。事務局で見直し、お示しできればと考えている。

(川原会長)

他に質疑がなければ承認決議を取りたいと思います。この内容で国土交通大臣に提出してよろしいでしょうか。

⇒反対なし

(川原会長)

第2号議案について承認する。

4 報告事項

(1) コミュニティバス（まちバス）の利用状況報告及び無料乗車体験の事業経過報告について（資料3）

(事務局 中島係長)

資料説明

(草野委員)

10月の利用者数は前後の月に比べて70人以上多い。理由があるのか。

(事務局 中島係長)

理由は分からない。高齢者が多いため、冬には減少する傾向にある。

(北沢委員)

前回の会議で、大町町は他の市町に比べて利用者は多いと聞いたが、その後も利用者は多いのか。まちバスの運転手に直接話を聞いたが、病院へ行く人が多いため午前

中の便に利用者が集中するとのことであった。全国的に見ても地域公共交通は崩壊に近い自治体もある。運転手、担い手がいがないことが原因と考えられる。北海道ではバスの運行が出来ずに困っている所がかなりあると聞く。大町観光タクシーも運転手の高齢化が著しい状況。これについて難しいとは思いますが、行政から手助けしてもらえれば。

(事務局 中島係長)

対象者が高齢者ということもあって午前中が多い。夕方の第5便、第6便を無料にした結果、意外にも利用者は分散した。利用者うち一定数はトライアルへ行く人であるため、午後からの外出に切り替えたと考えている。無料期間でも第1便、第2便は変わらず多かった。運転手不足については、課内で話し合い検討したい。他市町の状況については詳細なデータは今のところない。客観的に実績値を見て佐賀県からの意見を頂きたい。

(及川委員)

12月末時点での他市町の集計結果と見比べたわけではないので、具体的なことは申し上げられないが、全国的、一般的にコミュニティバス利用者数が減ってきている中で、大町町の利用者数は伸びている。今後、詳細なデータを見ながら事務局と話が出来ればと考えている。現時点でお話出来ることがこの程度で申し訳ない。

(草野委員)

参考までにお話すると、昨日太良町の地域公共交通会議に出席したが、1便あたり0.1人とか0.2人とか。昨年1年間、(県内の市町の利用状況を)見て回ったが、大町町はずば抜けて素晴らしい。

(川原会長)

利用者数も伸びて、皆様に愛されているようだ。引き続き、利用の呼び掛け、委員の皆様自身もご利用してもらえようお願いします。

(武村妃呂子委員)

利用者の多くは、一時的な利用ではなく継続的に利用されている。バスに乗るよい流れが出来ている。まちバスは大町町に定着したように思う。運行開始当初の不安感はなくなった。とてもよい。

(事務局 中島係長)

今後も利用者が減らないように、引き続き取り組みを続けていきたい。

5 その他

(事務局 中島係長)

先程、城戸副会長からの意見でもあったが、交通計画の見直しについては事務局でも考えていた。JRの時刻等、計画策定後に変更になったものがある。来年度、自身を精査したうえで皆様にお示しできればと考えている。

今年度は、佐賀県からの奨励金を活用し無料乗車体験という形で取り組みを行いまちバスの利用者数は伸びている状況。しかし、利用者が多く追走が発生すると、

町としては赤が出る。運賃収入は1回100円で満席になったとしても9人で900円。追走が発生すると数千円の費用がかかる。利用が増えることは嬉しいことだが、持続可能な公共交通の意味を考えると…。さらに利用が増えれば、車両をもう1台増やすということも考えられるが、人件費等をまちバスの運賃収入でカバーすることは正直無理だと思う。運賃以外の収入を考えても、委託費すべてを補えるような収入は見込めない。来年度は、無料乗車体験は一旦保留して様子を見たい。運賃無料の取り組みの効果で一時的に利用が増加したのか、それとも武村委員が発言されたように定着してきているのかを見極めたいと考えている。結果、無料の取り組みをしているから利用が増えていたということになれば、令和8年度から運賃無料の取り組みを再開したい。取り組みをやめるのではなく、検証のための様子見をしたいと考えている。

(草野委員)

事務局へのお願い。安定した公共交通サービスを守るため、運転手確保の支援をお願いしたい。バスタクシー協会や事業者で広報をしているが、なかなか行き届かない。本日も佐賀市メートプラザで運転手募集の説明会を開催している。2月2日には伊万里自動車学校でも開催予定であるが、参加者がなかなか集まらない。他県から運転手を集めようという所まで来ている。二種運転免許取得の補助をしてもらえると有難い。バスを利用する市民や観光客のために、バス停の整備。例えば高齢者の利用が多い所では、ベンチや屋根の設置、観光客にもわかりやすい表示等の整備に補助を出してもらえると有難い。

(事務局 大島副課長)

より良いサービスを提供するため、ご意見を踏まえて大町町として出来ることを検討してご報告できたらと考えている。

(北沢委員)

バスの車内・車外に広告を掲載することは制度的に可能か。

(事務局 中島係長)

可能。運賃収入以外の収入で一番早いのは広告収入かと考えている。

(北沢委員)

できればバスの最終目的地のスーパー（トライアル）に広告を頂けるのが一番よいと思う。

7 閉会（事務局 中島係長）

以上をもって会議を終了する。

以上

議事録確認日：令和 7 年 2 月 5 日

議事録署名人： 北 沢 聡